

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 21

H30. 3. 23

発行責任者 校長 橋本一弥



卒業・進級おめでとうございます

9名の6年生が晴れの卒業を迎えました。震災による影響を受けながらの6年間でしたが、様々な出会いの中で、心も体も大きく成長しました。特に、この一年は、最高学年として様々な面で大活躍すると共に、少ない人数でも中郷小学校の伝統をしっかりとつないでくれたことをうれしく思います。まさに本校でめざす「あこがれの6年生」に成長しての卒業です。心よりお祝い申し上げます。

中学校では、さくらっ子まつりの劇で伝えた「負けない体力(翔太くん)」「勉強に向かう姿勢(貴博くん)」「挑戦する気持ち(隼くん)」「あきらめない気持ち(空花さん)」を大切にして努力を続けると共に、「知らない人とも積極的に関わる姿勢(豪斗くん)」「コミュニケーションの力(ののかさん・リナさん・心結さん)」「人を喜ばせる工夫(紗菜さん)」でたくさんの友達と有意義な中学生を送り、夢の実現に近づいていってほしいと思います。

在校生も、それぞれの学年の学習や活動に精いっぱい取り組み、一回り成長しての進級です。冬休み明けからは、新しい学年への進級に向けて、目標や自覚を持ってがんばっていました。中郷小学校の伝統も、しっかりと先輩から受け継ぐことができました。4月からは新しく入学する11名の新1年生のお兄さんお姉さんとしても活躍してほしいと思います。

この1年の保護者はじめ地域の皆様の本校の教育活動へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



最後の授業参観・PTA総会 3月2日

3月2日には、今年度最後の授業参観を実施しました。多くの保護者のみなさんにおいでいただき、この1年間の成長や学習の習得の状況をご覧いただきました。

PTA総会では、今年度の活動と会計の報告や次年度の計画が承認されました。また、次年度の新しい役員も決定しました。お世話になります。

新 会 長 渡邊寅一さん
副会長 木幡文久さん
庶 務 安部好市さん
会 計 柳沼公威さん

監 査 木幡勝美さん
" 宗像寿好さん
" 影山 収さん



授業参観から



バスの運転手さん、そして毎朝校門前で見守っていただいた方々に感謝の気持ちを伝えました（22日 集団下校）。



2月、3月と、たくさんの自主学習ノートの提出がありました。さらに努力を重ねていきましょう（22日 修了式）。

平成30年度の中郷小学校の教育活動

児童数 79人(2人増) PTA 実家庭数 59(1増) 学級数 7学級・教職員定数 13(変更なし)

教育目標

心豊かで自立的精神に満ち、限りない創造性を求めて「輝く子ども」を育成する

輝くこころ (やさしさや思いやり)	他を認め受け入れ、自己を磨く心を育成する。
輝くひとみ (確かな学力)	自分の思いや考えを表現する力を高める。
輝くからだ (ねばり強さとたくましい体)	バランスのとれたたくましい心と体を育成する。

各学年の指導を充実させ 自ら学び、考え、実行できる **あこがれの6年生** を育てる

平成30年度の重点目標

- ① 自分の周りの人の気持ちや立場を考えて、話したり、行動したりできる子どもを育てる。
- ② 自分の思いや考えを持ち、それを堂々と、分かりやすく相手に伝える子どもを育てる。
- ③ 進んで、友だちと競って、励まし合って、体力づくりに励む子どもを育てる。 以上に、変更はありません

～そのために次のことを実践します！～

() は実践のキーワード 下線は、昨年度からの変更点

基盤となる学級経営の充実

輝くこころ

- 自他を見つめるふれあい活動の工夫とあいさつ運動を展開 (異学年交流 他校交流 集会活動 児童会活動)
- 「なかさとつ子キャッチフレーズ」による生活習慣・学習習慣の育成と家庭との連携の工夫 (テレビ・ゲームの時間 読書 宿題・自主学習)
- 道徳と各教科等との関連を図った指導の充実と家庭・地域との連携 (別様活用 道徳参観)
- 調査結果を活用したよりよい人間関係形成の指導 (心のアンケート hyperQ-U SST)
- 地域への誇りと愛着を育む地域学習の充実 (地域素材 地域人材 中郷コミュニティー)

輝くひとみ

- 学ぶ意欲を育てる問題解決的学習、価値ある体験活動の工夫 (素材・課題の工夫 単元づくり)
- 自分の考えを持たせ、表現・交流する場の工夫 (書く活動の充実 時間づくり 言語活動の充実 オープンスペース)
- 基礎的・基本的事項の定着を図る活動の工夫 (朝の活動 プリント活用 協力・支援体制)
- 全校音楽の年間を通した展開 (合唱 鼓笛 発表の場)
- 個々の実態に応じた特別支援教育の充実 (個別の指導計画 交流学习)

輝くからだ

- 水泳・陸上・マラソン・縄跳びによる年間を通した運動の奨励 (記録会 交歓会 記録カード)
- 体育の授業における運動身体づくりプログラムの継続的実践 (運動身体づくりプログラム)
- 児童の体調管理能力を高める健康指導・健康相談の充実と食育の推進 (養護教諭・栄養技師とのT.T)
- 自分の体や体力を知る振り返りの時間の工夫 (自分手帳 家庭との協力)
- 自分の命を自分で守る態度を育てる安全学習の充実と訓練の実施 (交通・火災・地震・不審者等 引渡し)

～教育課程の概要～

授業日数 204日 (5・6年生は205日 平成29年度比2日減)

- 本校の伝統や特長である地域素材や地域の方々・専門家の指導による学習活動、音楽活動を継続して取り組むように、各教科等の指導計画を作成しました。
 - ・地域素材を生かし地域の方から学ぶ活動
 - ・バスを活用して積極的に体験活動を実施
 - ・総合的な学習の時間の内容の一部再見直し
 - ・全校音楽活動や集会活動の継続的実施
- 安全や効果を考えて、授業時数の配当を工夫しました。日課表に変更はありません。
 - ・冬期間の帰宅時の安全確保のため、冬期間の授業時数や下校時刻を工夫
 - ・行事等を工夫しながら適切に位置づけ、実質的授業時数を確保。
- 新学習指導要領(平成32年度実施)の趣旨を受け、移行措置を確実に実施します。

学校だより「さくらっ子」を通して学校の様子や学校経営の考えをお伝えして参りました。2年間、ありがとうございました。